

社会福祉法人松戸市社会福祉協議会  
令和3年度第3回松戸市居場所づくり全体会議要旨

1 日 時 令和4年1月13日(木) 10時00分～11時20分

2 会 場 まつど市民活動サポートセンター 大会議室

### 3 議 事

(1) 報 告

①各地区の進捗状況報告について

(2) 議 題

①まつど DE つながるステーション」の承認、活動費の支出について

②次年度の方針について

③次年度のスケジュールについて

(3) その他

### 4 出席者

(1)出席委員(12名)

会長	文入 加代子	松戸市社会福祉協議会	会長
副会長	恩田 忠治	松戸市町会・自治会連合会	会長
委員	安蒜 正己	松戸市町会・自治会連合会	副会長
委員	平川 茂光	松戸市民生児童委員協議会	会長
委員	梶原 栄治	松戸市民生児童委員協議会	副会長
委員	阿部 剛	特定非営利活動法人まつどNPO協議会	理事
委員	松村 大地	特定非営利活動法人まつどNPO協議会	理事
委員	伊東 朱美	松戸市総合政策部	部長
委員	上野 真一	松戸市市民部	部長
委員	笹川 昭弘	松戸市健康福祉部	部長
委員	渡部 優樹	松戸市生涯学習部	部長
委員	小川 早苗	松戸市社会福祉協議会	副会長

(2)出席機関(9名)

松戸市総合政策部地域共生課、特定非営利活動法人まつど NPO 協議会

(3)事務局(9名)

松戸市社会福祉協議会

### 5 議題内容

#### ■各地区の進捗報告について

まつど NPO 協議会より、まつど DE つながるステーション創出に向けたアプローチの経過として、各地区のニーズ・課題、今後の方針や取り組みについて報告。

報告を受け、各委員からは以下の通りご意見をいただいた。

#### 各委員よりいただいたご質問の概要

・居場所の運営における人手不足についてや既存の活動とのすみ分けについてどのように考えているのか。

⇒【回答】少子高齢化に伴う人手不足は否めないが、若い人材がいないわけではない。しかし、地域で活動する若い人からは地域でこれまでずっと活動していた方との接点を持っていないと  
の声がある。そのような人を見つけて繋げることで、協力し合える関係をつくっていくことが目  
標。既存の活動とのすみ分けはこれまでの活動に敬意を払いつつ、相反するものではない  
ことを丁寧に伝えていく。

■「まつど DE つながるステーション」の承認、活動費の支出について  
NPO 協議会より、以下2点について説明。異議なしとして承認をいただいた。

#### (1)まつど DE つながるステーション事業計画

プレイベントの開催

開催日:令和4年3月13日(日)

場所:郵政宿舎(松戸市六高台3丁目)

目的:多世代の居場所をつくる取り組みを行う実行委員会が立ち上がり、今後、様々な  
活動を六実六高台地区で進めていくことを地域住民及び居場所の運営に関わる  
人々に伝えることを目的とする。

内容:①情報展示パネルの展示等

②防災と居場所につまわる体験ワークショップ

③六実六高台地区の居場所についての情報提供

主な対象者:六実六高台地区の方々及び居場所の運営などに関わるの方々

動員目標人数:200人程度(同時開催のキッチンカーイベントを含む)

運営チーム人数:10人程度

運営参加者:11団体、その他地域住民

広報手段:チラシ配布、各実行委員によるインターネットへの投稿、その他(口コミ等)

#### (2)まつど DE つながるステーション活動助成金交付申請

プレイベント開催に伴う経費 40,000円

#### 各委員よりいただいたご質問の概要

・拠点が未だ準備されていない状況でステーション活動の事前PRは出来るのか。

⇒【回答】事前PRについては、掲示や配布だけでなく、市のホームページやTwitterなどを  
活用し、若い世代の方にもご覧いただけるようにする予定。

・六実六高台地区のプレイベントの広報手段で町会の回覧板や掲示板は活用しないのか。

⇒【回答】検討はしたが、イベントの開催内容の確定予定日と開催日までの日数が少ないた  
め、回覧をするには時間が足りないと判断した。今後の活動では活用を検討していく。

・イベントに参加するボランティアの昼食などは予算として計上可能か。

⇒【回答】今回のイベントに関して捻出は厳しいと感じている。

助成対象の食糧費については、基本として参加者を対象としているが、運用の範囲内で一  
部を使用することは可能と考えている。

- ・六実六高台地区でのイベントで動員目標数が200人とあるが、密になることはないか。  
⇒【回答】天候にも左右されてしまうが、屋外のかなり広い会場での開催を予定しているので、密にならないように運営できると考えている。
- ・イベントのボランティアは何人になる予定か。  
⇒【回答】現時点では10人程度としているが、まだブースの詳細や担当が確定していないため、増える可能性がある。
- ・オミクロン株の感染者が増加しているが、もしイベントが中止となった場合、準備に使用した予算は支出できるものと考えていいのか。  
⇒【回答】そのように考えている。

#### 各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

- ・この制度は15地区が一斉に行うことを目指すのではなく、地区ごとにオーダーメイドなものを考えていければいいと思う。
- ・助成金の活用については柔軟性をもたせる必要があると思う。
- ・実行委員会の拠点がないうちで、打合せの会場、書類作成時の機材はどこのものを使うかなど、全体的なルールを作る必要があると思う。
- ・六実六高台地区のイベントの会場は六実桜まつりの会場に面しているが、桜まつりは新型コロナウイルス感染防止の観点より、今年も中止が決まっているため、地域の方から別のイベントを行うことへのご意見が出るのではないかと感じた。事前にPRをして活動について理解して頂く必要があるのではないかと感じた。
- ・今回のイベントは防災をテーマにするということで、是非地域にいる防災リーダーにも声をかけてみてはどうか。

#### ■次年度の方針について

松戸市地域共生課より来年度の方針についての説明。異議なしとして承認いただいた。

#### ■次年度のスケジュールについて

事務局より来年度の全体会議スケジュールを説明。異議なしとして承認いただいた。

## 6 その他

- ・今後の予定…令和4年度第1回松戸市居場所づくり全体会議の開催  
日時:令和4年4月12日(火)10時00分～